

会 議 録	
附属機関又は 会議体の名称	第1回 男女平等推進センター運営委員会
事務局(担当課)	男女平等推進センター
開催日時	令和8年4月22日(水) 午後3時～4時 40 分
開催場所	男女平等推進センター研修室 2
出席者	委員 岸 知秀 濱口 恵子 松本 憲藏 矢口 節子 鈴木 美千花 長島 千代美 渡辺 寛子 堀江 咲智子 吉川 倫子 男女平等推進センター所長
	事務局 4 名
会議公開の可否	公開・非公開・一部公開 傍聴人 0 名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	議題 1 事業報告及び今後の予定について 2 エポック 10 フェスタ・プレフェスタ 2026 について ・エポック 10 フェスタ実行委員会の報告について ・運営委員会展示物について 3 連絡事項
審議経過 委員長 令和 8 年度第1回豊島区男女平等推進センター運営委員会を開会する。 本日は傍聴希望の方はいらっしゃるか。 事務局 傍聴希望の方はいない。 【議題 1】事業報告および今後の予定について 資料1-1 「R8 年度第1回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整G)」の説明 —委員からの質疑および意見— 【本区のジェンダー主流化に関する取組が、他区情報誌で紹介されていたことについて】 委員 ジェンダー主流化について、豊島区の取組で評価されている具体的なポイントはなにか。 事務局 平成 26 年に豊島区は 23 区で唯一消滅可能性都市と指摘された。20 代から 30 代の女性が2020年から今後 30 年間で、50%以上減少していくと推定され、子どもを生み育てるこの世代が減ってしまうと最終的に人口も減少していくだろうという考え方のもとでの指摘であった。 そのような状況を改善するため、子ども、女性にやさしいまちづくりを進めていく対策として、20 代、30 代の女性を中心に、としま F1 会議を立ち上げ、11 の事業を予算化、提案したという経緯がある。	

その事業が子育て、健康、まちづくり、産業振興など様々な分野に及んでおり、それがジェンダー主流化であるということで、他区情報誌に取り上げられた。

委員 F1 会議のようなスキームは他の自治体に浸透している感じがしない。

事務局 ジェンダー主流化に関して、いくつかの都内の自治体で進めていこうという流れは出てきている。

資料1-2 「R8 年度第1回運営委員会 事業報告(事業企画 G)の説明」

—委員からの質疑および意見—

委員長 事業報告の 21 番大正大学講義について、今年はどんな様子だったのか。

所長 大正大学表現学部の 2 年生が 3 クールの間に実施する授業。1 クール目は、エポック 10 がアンコンシャス・バイアスをテーマにした講義をし、学生にアンコンシャス・バイアスに関する課題解決の企画を提案してもらっている。別クールでは企業が登壇し、その企業が抱える社会課題等について、学生に解決企画を提案してもらう、といったスタイルの授業である。

エポック 10 の初回講義では 60 人程の学生に、アンコンシャス・バイアスを知っているかを聞いたところ、知っているのが 1 人か 2 人という状況もあり、若い世代に「どんな企画をすればアンコンシャス・バイアスを知ってもらえるか、気づいてもらえるか」について現在企画を考えてもらっている。5 月 29 日にプレ・フェスタで、各チームにミニプレゼンをしてもらい、6月2日に、大正大学で最終プレゼン、その際に運営委員の皆様にも審査してもらいたく、ぜひご参加いただきたい。

委員 どこでアンコンシャス・バイアスというこの言葉に出合う人が多いか。

所長 大正大学教授から高校の教科書にアンコンシャス・バイアスが今年から載ることになったと聞いた。区の新人職員にジェンダー平等の研修をしたところ、アンコンシャス・バイアスを初めて聞いた人が多かった。今のところは、アンコンシャス・バイアスや無意識の思い込みというのを頻度高く発信していかないとなかなか出会わないのかもしれない。

委員 朝日新聞に初めてアンコンシャス・バイアスという言葉が載ったのは 2018 年である。

委員 ジェンダー平等という言葉はだいが定着してきている。これとセットで一緒に語ればもう少し広まるのではないか。

委員 令和 7 年から中学の道徳教科書には掲載がされているようだ。

資料1-3 「R8 年度第1回運営委員会 事業報告(相談 G)の説明」

—委員からの質疑および意見—

委員 中高生センタージャンプにくる学生の年齢層は。

事務局 どちらかといえば高校生が多い。実際参加したら高校 2 年生 3 年生が多く、その子たちに、デート DV についてクイズ形式でアプローチしながら、楽しく参加してもらい、悩み相談も少しできた。

委員 bloom / bloom +は今年から始めたのか。

事務局 昨年度に計画し、試行で 2 月 3 月に実施したところ、反響が良く、こういう居場所があってよかった、ぜひまた来年もという声が多かったので、今年度も実施していきたい。

委員 いい事業だ。グループカウンセリングの感じに近いのか。

事務局 ファシリテーターの先生がその場の雰囲気をつくりながらピアサポートが中心のためお互い話しながらの形式。DV 被害経験のある方が集まる bloom +の方は、回復プログラムも組んでいる。

委員 広報はしていくか。

事務局 今はホームページ掲載と X、チラシで広報している。また、実際に個別相談に来た方に案内していることが多い。

委員 計 5 回延べ 33 人参加と記載があるが、1回のみの参加もいれば、5 回参加している方もいるのか。

事務局 そうである。できれば継続参加を、と伝えているが、都合により単発となる場合はある。全部に参加した方は 1 人か 2 人ぐらい。時折抜けても、うまくつながるような内容としている。

委員 今回の報告を聞き、色々なことが進化し、力を入れているのがわかる。良い取組だ。これからが楽しみである。

【議題 2】エポック 10 フェスタ、プレ・フェスタ 2026 について

—資料 2-1 について、エポック 10 フェスタ実行委員より報告、事務局よりプレ・フェスタでの

運営委員会考案企画についての報告―

委員長 今回のエポック 10 フェスタの会議はどんな雰囲気で行われたのか。

委員 団体の数が増え、新しい団体が加入し積極的な感じで、今年は賑やかである。
プレ・フェスタも、コロナ前に戻ったような参加数と思う。

委員 センタースクエアの企画も申込みをするのか。

事務局 不要である。

委員長 フィンランド大使館の方をおつなぎいただき感謝する。今年実現となりよかった。プレ・フェスタで聞けるのは贅沢。

所長 プレ・フェスタは申込不要で何人集まるかわからないため、是非来ていただきたい。
フェスタの申込は 5 月 19 日から。お忘れなくお申込みを。

―資料 2-2 について、事務局より展示物について説明―

委員 アンコンシャス・バイアスなどの専門用語はカタカナが多く分かりづらい。こういったテーマに入っていくにくい壁の一つである。
辞書のような、その言葉についてパッと見て分かるような、解説するページがあるといい。

所長 辞書みたいに字ばかりとなり、見てくれないのではないかと。展示の枚数を増やしたのも一枚あたりの文字数を減らし、デザイン的にも見やすくするためである。

委員 個人的に長い説明ではなく 1 行くらいで辞書的なものがあってもいいのではないかと。

委員 分かるようで分からない言葉が結構多い、エポック 10 で使っている専門用語は最先端だと思う。

委員 「展示を見るための解説」というコーナーがあれば少し興味を持って見てくれるかも。

委員 この言葉知っているか、を参加アンケートにして、解説入れると良いのでは。

所長 今回ワードをピックアップして試験的にやってみる。

委員長 フェスタ前の運営委員会は今回が最後になる。展示物については今の皆さんの意見をふまえ事務局一任したいと考える問題ないか。

一同 問題ない。

委員長 プレ・フェスタの運営委員会の展示物は、5 月29日金曜9時から11時で設営準備、翌日30日の土曜15時から17時で撤収作業を行う。ご協力いただける方は事務局まで連絡をお願いする。

【議題 3】連絡事項について

所長 ジェンダー主流化、というところで報告する。
区民からのご意見で、保健所の3歳児健診アンケートでは、「夫が協力的か相談できるか」を聞いている。しかし、夫が答える場合、選択肢に「妻が協力的か、相談できるか」の記載がないご指摘があり、アンケートを訂正した。他にも女性健診には保育をつけていたが、男性健診は保育をつけていなかったなど、改めて考えると整備されていないものが見つかった。今後見直しが必要と所管課も考えている。

委員 区役所でもアンコンシャス・バイアスは多く存在しているということ。

所長 あらゆる施策にジェンダーの視点をいれるため、皆様から今後も多方面で意見をいただきたい。

【次回日程:7月22日(水)15時 研修室2】

委員長 以上で第1回男女平等推進センター運営委員会を終了する。

提出資料	資料1-1 R8 年度第1回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G) 資料1-2 R8 年度第1回運営委員会 事業報告(事業企画 G) 資料1-3 R8 年度第1回運営委員会 事業報告(相談 G) 資料2-1 エポック 10 フェスタ実行委員会報告・運営委員会考案企画報告 資料2-2 運営委員会展示物(事務局案)
------	--